

せたがやアーツプレス

SETAGAYA ARTS PRESS

世田谷文化センター

2020年度 シーズンラインアップ
芸術監督・野村萬斎

世田谷文学館

安野モヨコ展 ANNORMAL

音楽事業部

シリーズ和・華・調 第3回
静と動の響～笛・琵琶～

世田谷美術館

驚異の三人!! 高松次郎・若林奮・李禹煥
一版という場所で

生活工房

「14歳のワンピース」9年分の誌上ファッションショー!

国際事業部

せたがや国際交流センター オープン

2020.4-7

Vol. 19

公益財団法人 せたがや文化財団



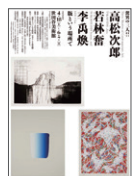
CONTENTS



野村萬齋 ©江森康之



鈴木 杏



驚異の三人!! 高松次郎・若林奮・李禹煥



14歳のワンピース ©ゆかい



せたがや国際交流センター



コレクション展

- 02 Cover Story カバーストーリー 野村萬齋
- 03 Theatre 2020年度 世田谷パブリックシアターラインアップ
- 05 Theatre 『ある馬の物語』 白井 晃
- 06 Theatre 『殺意 ストリップショウ』 鈴木杏
『せたがや 夏いちらくご』 春風亭一之輔
- 07 Art 驚異の三人!! 高松次郎・若林奮・李禹煥
一版という場所て
- 09 Literature 安野モヨコ展 ANNORMAL
- 11 Design 14歳のワンピース、9年分の誌上ファッションショー
- 13 Music シリーズ和・華・調 第3回「静と動の響」
- 15 Information せたがや国際交流センター オープン
- 16 Theatre Report 『メアリ・スチュアート』
- 17 Pick Up コレクション展
「新青年」と世田谷ゆかりの作家たち
- 18 Community Program 11年目に突入する@ホーム公演
- 19 News 第6回世田谷区芸術アワード“飛翔”受賞者決定
- 21 Ticket 前売チケット発売情報



白井 晃



春風亭一之輔 ©山添雄彦



安野モヨコ展
「さくらん」2002年
©Moyoko Anno/
Cork



中川善雄 ©松谷靖之



『メアリ・スチュアート』©細野晋司

Setagaya Arts Navigation
“今日、何やってる?”

せたがやアーツナビ 検索

<https://www.setagaya-bunka.jp/>



新型コロナウイルスの感染拡大防止などの理由で本誌掲載の事業、公演が開催中止や延期になることがあります。

表紙 : 野村萬齋
[撮影:細野晋司]
デザイン: 飯岡るみ
編集協力: 有限会社 壘

*掲載した情報は2020年2月時点の情報です。
やむを得ない事情で開催予定、内容などが変更になることがあります。
*本誌に掲載の記事・写真の無断掲載を禁じます。

編集・発行: 公益財団法人せたがや文化財団 事務局
© Setagaya Arts Foundation. All rights reserved.

世田谷パブリックシアターの 野村萬齋

650年以上の歴史をもつ日本の伝統芸能「狂言」。3歳で初舞台を踏み、17歳で『三番叟』を披いた狂言師 野村萬齋の活動は、ご承知のように狂言の世界に留まらない。自らのアイデンティティを活かして「伝統演劇と現代演劇の融合」を唱え、世田谷パブリックシアターの芸術監督として采配をふるう。また様々な作品を演出、俳優としても果敢に舞台に立ち、文字通り三面六臂の日々だ。

今回、2020年度のラインアップの話聞いたなかで印象的だったのは、萬齋が何度か口にした「フェイク」という言葉。今日のネット社会において、人はハンドルネームを名乗り、その名前の人物になりすまして自由に発言する。まさに、本来俳優が舞台である役になりすまして演じる、それである。フェイクとは元来にせものとか模造品を意味しているネガティブな言葉。だが、そもそもフェイクも文化の一形態であると萬齋は言う。

「歌舞伎がフェイクありありに対し、能狂言はマジなんです。その発生、成り立ちともおおいに関係があると思うんですが、そんなことから伝統文化をひもといていくのもおもしろい。

世田谷パブリックシアターの舞台もマジなものあれば、フェイクもある。そのフェイク加減をより軽くするか、逆に重くしちゃうのか。少しマジというか、決まりきったものでないマジがあってもいいんじゃないでしょうか」

そこでラインアップ。人気のシリーズ「現代能楽集」に触れ、「能の『道成寺』『隅田川』を現代作家が読み解き、いい意味でのフェイクなんです、それを長田育恵さん、瀬戸山美咲さんがマジに落とし込もうという気概を感じます」と。舞台の見どころ、醍醐味をこう表現する萬齋。

撮影のために世田谷パブリックシアターの天井部分の渡り廊下にあがってもらったが、頭上には青空が描かれていた。フェイクなのだが、何か本物のマジな青空に見えてきた。



[撮影：細野晋司]

MANSAI NOMURA

「多彩なプログラムで舞台芸術の魅力を存分に



〔撮影：細野晋司〕

毎年この時期になると、新年度のシーズンラインアップを発表するのですが、2020年度もこうして皆さまにプロジェクトの数々をお伝えすることができて、たいへん嬉しく思います。いうまでもなくラインアップは時代の空気も読みつつ、時には先取りして、何がいまの世田谷パブリックシアターにとって大切なのか、そして、世田谷パブリックシアターらしい作品にするために演出家の方々、出演者、プランナーのお力を借りて、劇場にいらっしゃる皆さまのご期待にどう応えられるかが選定の重要な指針となります。

公共劇場として老若男女、すべての人に活用していただくために、何よりも劇場へ足を運んでいただくための事業を本年度も続けてまいります。今日、映画もネットで観られて、娯楽のあり方が広がり、かつ手軽になっていく状況に抗って、わざわざ劇場に足を運び、舞台の面白さを再認識していただきたいのです。

シーズン幕開けはブロードウェイでも大評判をとった、人気の手話カンパニー「デフ・ウェスト・シアター」の『オルフェ』です。手話にセリフや歌を組み合わせた斬新な演出で、聴覚障害者と健常者が手を取りあって雄弁に感情を表現する舞台に驚かれることでしょう。そこには人間の可能性と新たな表現、そして演劇的面白さが満ちあふれ、世田谷パブリックシアターが目指す共生社会、多様な価値観の創造を感じていただけたと思います。

演劇は新作4本に、再演が1本です。まず、2020東京オリンピックで世田谷区の馬事公苑で「馬術」競技があるから、というわけではありませんが(笑)、白井晃さん演出の『ある馬の物語』は「生きることは何か」を問う作品です。19世紀後半のロシアのこの物語を白井さんがどう“調教”するのか、大いに楽しみです。続いては、何度も三好十郎作品を演出している栗山民也さんが、ひとり芝居『殺意 ストリップ ショウ』に取り組みます。1950年に書かれた女性の心の叫びこそ、今日上演する意味があると栗山さんはおっしゃっています。鈴木杏さんの生命力に満ちあふれた「声」がシアタータラムに響くことでしょう。

後半は、『メアリ・スチュアート』で5たび世田谷パブリックシアターとの強力タッグを成功させた森新太郎さんが、新たな構想で新作を立ち上げます。そして、人気シリーズの現代能楽集は10作目となりますが、初めて女性コンビが登場、ともに旬の長田育恵さんと瀬戸山美咲さんの2人の作、瀬戸山さんが演出を手がける、能の「道成寺」「隅田川」を素材にした現代能楽集×『幸福論』です。プロットを読ませてもらいましたが、豊かなイマジネーションにあふれ、お二人の現代能楽集に賭ける気概を感じました。おおいに期待してください。

そして来年になりますが、17年に世田谷パブリックシアターで上演し、数々の演劇賞をいただいた『子午線の祀り』を再演します。人間の因果というのを定めるのに、これだけ根幹的な作品はないと思いますし、大きな世界観に抜き出た宇宙に広がる叙事詩劇、群読のすばらしさもぜひご堪能いただきたいと思います。

※

お届けします」 世田谷パブリックシアター 芸術監督 野村萬齋

今期の特徴としては、デフ・ウェスト・シアターのほかにも海外からの招聘作品が多いことがあげられます。世田谷パブリックシアターらしさのひとつであるサーカス公演として、アジア随一の現代サーカスカンパニー「フォルモサ・サーカス・アート」が台湾から、独創的で驚き満載のフランスの現代サーカス「カンパニー・オクトーブル」、芝居ではスロバキアを代表する劇団GUnaGUが、そしてアメリカンダンスのAte9が躍動感溢れるステージを見せてくれることでしょう。これだけ海外の旬の舞台が並ぶ公共劇場はそうはありません。

恒例の夏のイベント「せたがやこどもプロジェクト2020」では、親子で楽しめる寄席の企画が新しく加わり、落語ビギナーの方もこそってお越しいただければと思います。

さらに一年間を通じて、劇場ならではの演劇・ダンスワー

PROFILE

◎ 野村萬齋 のむら・まんさい

狂言師。世田谷パブリックシアターでは、『まちがいの狂言』など狂言の技法を駆使した舞台や、『国盗人』など古典芸能と現代劇の融合を図った舞台を次々と手掛け、自らの構成・演出作『敦一山月記・名人伝一』では朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞を受賞。ほかにも全国各地、海外公演も果たした『マクベス』、新演出の『子午線の祀り』(読売演劇大賞最優秀作品賞受賞)など、多くの作品を演出。2002年より世田谷パブリックシアター芸術監督。2020東京オリンピック・パラリンピックでは、開閉会式チーフ・エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクターを務める。

クシヨップやレクチャーなどの企画を、気軽に参加できるものからじっくり取り組めるものまで、展開してまいります。

これらの多彩なプログラムを通じ、世田谷パブリックシアターとお客様がつながり、舞台芸術の魅力を存分に堪能していただければ幸いです。

劇場でお待ちしております。

2020年度世田谷パブリックシアターラインアップ

2020 LINE UP

4 ● 4月 デフ・ウェスト・シアター 『オルフェ』

5 ● 5月 『フリーステージ2020』

6 ● 6月 『ある馬の物語』

7 ● 7月 『殺意 ストリップショウ』

8 ● 8月 子どもとおとなのための◎読み聞かせ 『お話の森』



ROLLY 片桐仁

フォルモサ・サーカス・アート(FOCA)

『悟空～冒険の幕開け～』

『せたがや 夏いちらくご』

『日野皓正 presents
"Jazz for Kids"』



Jazz for Kids



フォルモサ・サーカス・アート (FOCA)

9 ● 9月 『MANSAI◎解体新書 その参拾巻』

10 ● 10月 世田谷アートタウン2020関連企画
カンパニー・オクトーブル
『Midnight Sun/真夜中の太陽』

世田谷アートタウン2020
『三茶de大道芸』



© Francis Rodor

11 ● 11月 『森新太郎演出作品』



森新太郎

シアタートラム
ネクスト・ジェネレーションvol.13
Pancetta(パンチェッタ)『un』

12 ● 12月 長田育恵作 瀬戸山美咲作・演出 野村萬齋監修
現代能楽集X『幸福論』
～能「道成寺」「隅田川」より

日本・スロバキア交流100周年記念事業
劇団GUnaGU『ウオッカとクロム』(仮)



長田育恵
瀬戸山美咲

1 ● 1月 アメリカンダンス Ate9
『calling glenn』『EXHIBIT b』

2 ● 2月 木下順二作 野村萬齋演出・出演 ほか
武満徹音楽『子午線の祀り』



3 ● 3月 『地域物語2021』



©上田晋也



©細野晋司

文豪トルストイの原作に白井晃が新演出で挑む ——『ある馬の物語』



● 演出：白井 晃から

『ホルストメール』は馬の話です。しかし人間の話です。原作者レフ・トルストイが活躍したのはロシア革命前の帝政ロシア後期。彼の非暴力、博愛といった思想や哲学が、今再び必要とされている気がします。民衆を圧迫する貴族社会への疑問は、格差の広がった現代社会への懐疑と相似形をなすようです。所有することの虚しさを私たちはそろそろ気づいて良いはずです。

この物語は、老いた駿馬の生涯を通してそんなことを教えてください。

ロシアの劇団が40年近く前に音楽劇として立ち上げたのは、ベルリンの壁が崩壊する前のソ連時代です。日本の経済や社会の構造も大きく変化した中、今回の創作は、この作品に新たな意味合いを持たせてくれる、そんな予感がしています。

● トルストイと『ホルストメール』

トルストイが、『ホルストメール』を書き出したのは1862年後。ちょうど『戦争と平和』を構想し、5年をかけて完結したのが1869年。その後『アンナ・カレーニナ』を4年かけて完成する(1873～77年)などがあり、結局『ホルストメール』が世に出たのは1888年。構想25年ついに完成した中編!ということになる。2大代表作に挟まれた時期だから、当然作家としての成熟期の作だ。副題は「ある馬の歴史」、随所に美しい自然描写、馬の腹の中をのぞいて書いたような周到精緻をきわめた観察と表現。チェーホフとともに動物書きの名人と言われるトルストイの面目躍如の作品であり、人格化された馬から、トルストイの好む慎みや同情、人間への私心なき奉仕という美徳が浮き上がる。

● ものがたり

ホルストメールは、人間の嫌う「まだら馬」だが、生涯に一度、競走馬としてレースに出場して見事栄冠を勝ち取る。が、その最良の瞬間も束の間。馬主である公爵から仲買人に売られ、流転の道をたどる。一方、富と名誉を誇った公爵は愛人に逃げられ、原因不明の病を患い、年老いて病状は悪化の一途。そんな老公爵に、同じく年老いたホルストメールが偶然再会するが、公爵はかつての愛馬に気づけない。どうしても思いだしてもらいたいホルストメールは心からの自愛と敬愛をこめて、かつての主人にゆっくりと頬を寄せる……。

トルストイが、19世紀後半に書いた中編小説『ホルストメール』を、白井晃が演出する——この今昔のコラボを聞いただけでも期待が高まる『ある馬の物語』。しかも、役者が「馬」を演じ、人間という愚かな生き物と聡明な馬を対比させることで、「生きることは何か」という普遍的なテーマを問いかけるトルストイ文学。当時のロシアの農奴制に対しての痛烈な批判という側面に、白井が今日的な観点から再構成して文豪に挑む。

先鋭的な舞台をつくり続け、芸術監督を務めるKAAT神奈川芸術劇場ではアンチリアリズム宣言をした白井のこと。上演台本の分析以上に、俳優の肉体を通してまったく新しい舞台を立ち上げるに違いない。

受けて立つキャストも、人間に寄り添う馬に成河、飼い主の公爵に別所哲也、美しい牝馬、愛人などに音月桂、若き伯爵に小西遼生など、人気と実力を兼ね備えた出演者がそろった。演劇的な醍醐味に満ち満ちた舞台が待ち遠しい。

DATA

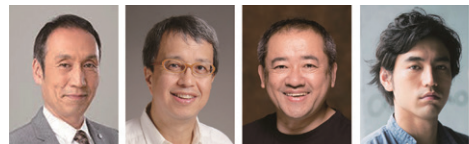
世田谷パブリックシアター 6月17日[水]・18日[木]プレビュー
6月20日[土]～7月12日[日]

『ある馬の物語』

原作 レフ・トルストイ 脚本 マルク・ロゾフスキー

翻訳 堀江新二 演出 白井 晃

出 成河 別所哲也 小西遼生 音月桂
大森博史 小宮孝泰 春海四方 小柳友
浅川文也 天野勝仁 西田欧諒 須田拓未
六田有里 香月彩里 小林風花 永石千尋 熊澤沙穂



詳細な公演日程、料金は▶P21をご覧ください。

栗山民也演出のひとり芝居に挑む 鈴木杏

1950年、三好十郎が雑誌「群像」に発表した『殺意 ストリップショー』は、左翼から熱烈な大東亜共栄圏論者に転向した教授を信奉した女の物語。演出を手掛けるのは、『胎内』『浮標(ブイ)』など、これまでも三好作品の苛烈な言葉に對峙してきた栗山民也だ。

女優、挺身隊、売春婦、ストリッパー……転落していく半生をたった一人、魅力たっぷりに、時に怒りに燃え、時に血が吹き出すように語り続ける女を演じるのは、数多くの舞台で活躍する鈴木杏。彼女はこの作品を読んだ第一印象を「猥雑さ、崇高さ、泥臭さ、美しさ……奥深い多面性を感じました」と語る。

「人を深く愛したり、誰かを尊敬し、憧れ、それが憎しみや軽蔑に変化していく様が克明に刻まれ、喜怒哀楽、人の持つ感情のすべてが書き込まれていると感じました。そしてこ

の戯曲に描かれた社会のあやうさは、今現在、決して他人事ではないんです。栗山さんが『今やるべき戯曲だ』と思われた理由も、すごく分かる気がします」

栗山演出は『母と惑星について、および自転する女たちの記録』『トロイ戦争は起こらない』で体験済み。

「言われた通りの動きをやってみると、スッと役の気持ちに通ったり、流れが分かったり……。栗山さんって、魔法使いのような～といつも思うんです。稽古でこれを独り占めできるというのは喜びです！絶好の機会を楽しむためにも、万全の準備をして取り組みたいと思いますし、『殺意』前、『殺意』後では、自分の感覚が大きく変わりそうな予感がします。とはいえ、まず私がやるべきことは、この素晴らしい戯曲をお客様にきちんと届けること。正直に、まっすぐに、この戯曲を体現できたらと思っています」

[撮影：白鳥慎太郎]



DATA

シアタートラム

7月11日[土]～26日[日]

『殺意 ストリップショー』

[作] 三好十郎 [演出] 栗山民也

[出] 鈴木杏

詳細な公演日程、料金は▶P21をご覧ください。

子どもから大人まで 初心者大歓迎! 『せたがや 夏いちらくご』



[撮影：山添雄彦]

この夏、子どもから大人まで落語を楽しむ新企画がスタート。ダントツの人気と実力を誇る落語家・春風亭一之輔が昼夜通して出演

し、昼はいろいろ(漫才・音曲・曲芸など)と競演の寄席スタイル、夜は独演会と、“演芸の幅”を目いっぱい楽しむ二種類の会が開催される。巧みなおしゃべりに想像広がるミニマムな落語空間は、演劇ファンも楽しいはず……!

「着物のおじさんが座布団に座って扇子をパチパチやるだけなんて、へんな芸能ですよ。でもこの省略が、演じ

る際にはこの上なく便利なんです。着物なら老いも若きも演じられ、上半身しか使えない身体も、肩を落としてなで肩にすれば女性になる。ぼんやりした人はぼんやりした目と(笑)、個性の違いは目で演じ分けます。つくづく落語って表現に無駄がないんです」

昼の部は子どもが楽しめる工夫を凝らし、夜の部も高校生以下は半額なので、若い観客も大歓迎。

「夏休みですから、小さいお子さん、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん……家族全員でいらして、自由研究にしてください。夜の部は10代の方もぜひ。落語は決して難しくない、日本語が分かれば分かりますし、なんなら日本語が分からなくても分かります。海外で演じた時、最初は字幕を追っていたお客様がだんだんこちらを向き、最後は空気感を楽しんでくれた時はいいもんでしたね。初めて落語に触れる方の前で演じるのは責任重大でもあります。が、“初心者しか来ちゃダメ”ぐらいの(笑)気合いでお待ちしております」

[取材・文：川添史子]

DATA

世田谷パブリックシアター

8月8日[土]

『せたがや 夏いちらくご』

[出] 春風亭一之輔 ほか

現代美術の巨匠3人による版画作品の競演

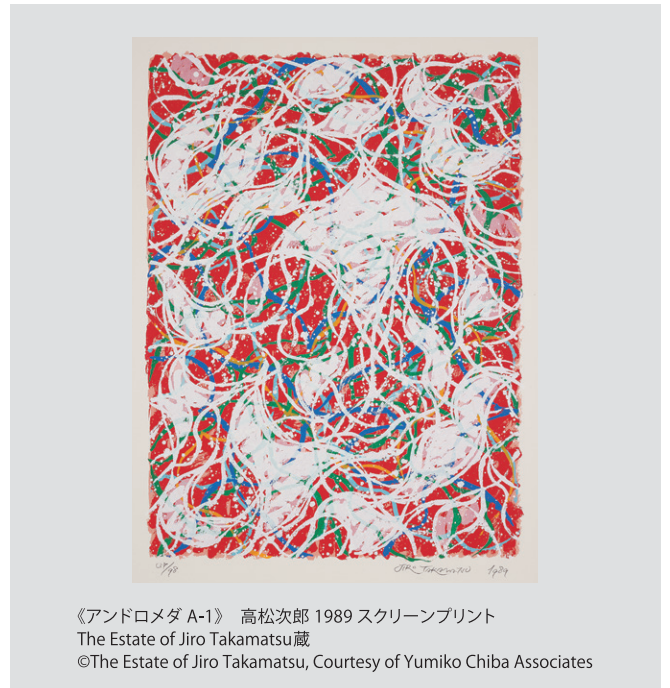
世田谷美術館では、4月18日より「驚異の三人!! 高松次郎・若林奮・李禹煥——版という場所で」と題した現代美術作家3人の版画作品を集めた展覧会を開催します。

驚異の三人とは、高松次郎(1936-1998)・若林奮(1936-2003)・李禹煥(1936-)で、いずれも1960年代に頭角を現し、日本の現代美術をリードした巨匠たちです。

高松作品40点、若林作品91点、李作品39点で構成し、彼らが「版」という技術になにを期して得たか、それぞれの軌跡をたどる、これまでにない展覧会です。

現代美術のスターが手がける版画作品

「野球で言えば、野茂と松井とイチロー」と、高松次郎・若林奮・李禹煥について、本展担当の野田尚稔学芸員は称します。現代美術の巨匠と位置づけられ、スターと言われるほど評価されている彼らは、そろって1936年に生まれ、20代から平面や立体で作品を発表し、美術界の注目を集めてきました。



《アンドロメダ A-1》 高松次郎 1989 スクリーンプリント
The Estate of Jiro Takamatsu蔵
©The Estate of Jiro Takamatsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

それぞれが独自の世界を切り拓いていくなかで、3人はともに版画作品に取り組みます。木版、ステンシル、エッチング、リトグラフ、シルクスクリーンなど、「版」という技法を積極的に取り入れました。版画作品というと、量産でき廉価で広く流布するという印象がありますが、「彼らの目的はそこではありません。自分の創作を版画というものに移しかえると、何が表れるかを考えていました」(野田学芸員)。

他者と出会って、自分を再確認する

版画家でない者が版をあつかう場合、人の手を借りなくてはなりません。版を作る、あるいは刷るという工程を版画工房の技術者にゆだねます。3人は、彫刻や絵画においては、細部にいたるまで自分のイメージどおりに作品を作れるにもかかわらず、わざわざ他者を媒介させる方法を選びました。

「版画は制約が多く、自分が思ったものができるとは限らない。しかし、その違いを工房の技術者とすりあわせるなかで、ふだん気づけないことを気づく。対話し、思索をめぐらし、過程を確認する表現なのだと思います」(野田学芸員)。

それは、一人で思いを巡らすより、誰かと対話するほうが、自分の考えが鮮明になり、物事が見えてくるという、私たちが日常で行っている作業に近いことかもしれません。

DATA

世田谷美術館

4月18日[土]~6月7日[日]

驚異の三人!! 高松次郎・若林奮・李禹煥 ——版という場所で

観覧料：一般1000(800)円、65歳以上800(600)円、大高生800(600)円、
中小生500(300)円 リピーター割引あり

※()内は前売り、20名以上の団体割引料金及びせたがやアートカード割引料金

※障害者手帳をお持ちの方は500(300)円、介助者1名無料

会期中一部展示替えを行います

前期：4月18日[土]~5月10日[日] / 後期：5月12日[火]~6月7日[日]

関連企画

対談 李禹煥(美術家)×酒井忠康(世田谷美術館館長)

世界各国で大規模な個展を開催し続けている李禹煥氏に、近年の活動や考えていることについてお話しいただきます。

日時：4月18日[土]14時~15時30分 会場：当館講堂

定員：当日先着140名 参加費：無料 手話通訳つき

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

講演会 「著作を読む」

第1回「李禹煥を読む」講師：三本松倫代(神奈川県立近代美術館学芸員)

日時：5月17日[日]15時~16時30分

第2回「若林奮を読む」講師：山田志麻子(うらわ美術館学芸員)

日時：5月24日[日]15時~16時30分

第3回「高松次郎を読む」講師：神山亮子(府中市美術館学芸員)

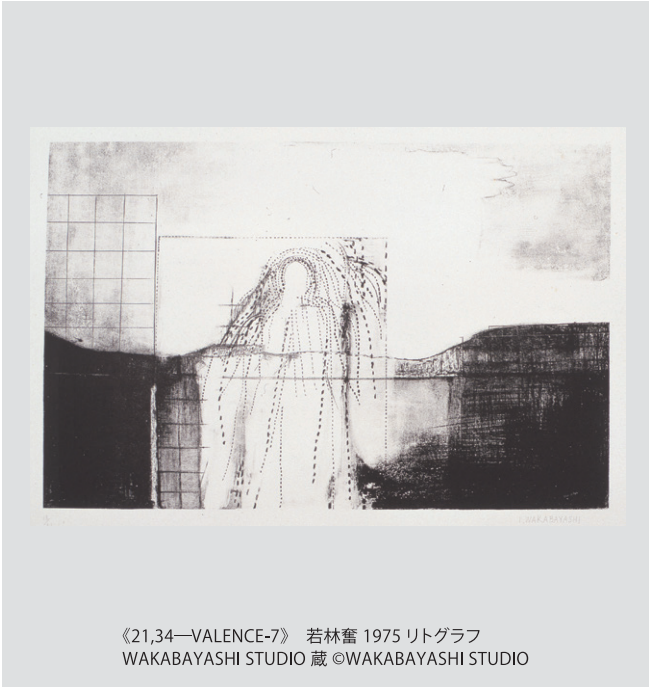
日時：5月31日[日]15時~16時30分 会場：当館講堂

定員：当日先着140名 当日13時よりエントランスホールで整理券を配布

参加費：無料 手話通訳つき

開館時間 10～18時 *最終入場は17時30分まで

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は開館し、翌日休館) *5月4日[祝・月]は開館し、5月7日[木]を休館します



《21,34—VALENCE-7》 若林奮 1975 リトグラフ
WAKABAYASHI STUDIO 蔵 ©WAKABAYASHI STUDIO



《Dialogue 2019 1》 李禹煥 2019 木版
©LEE Ufan, Courtesy of Shirota Gallery

3人それぞれがとった版へのアプローチ

高松次郎は、壁に浮かぶ影はあっても実態はない〈影〉シリーズ、遠近法で描かれたものを立体に戻した奇妙な彫刻など、常識や既存のルールをゆさぶる作品を発表します。知的でスタイリッシュ、見る側を刺激し、アート界のスーパースター的存在となりました。

本展では、22点からなる版画シリーズ《アンドロメダ》が展示されます。版を重ねる順や色を変えてバリエーションを作り、色彩と曲線の組み合わせが生む多彩さを見ることができます。ここで確認された形は、のちの油彩で強調されて現れます。

金属彫刻で認められた若林奮は、彫刻と版画に境がないかのような創作を続けました。版画のための銅板に傷をつけ、重ねてボルトで留めて彫刻作品にしたこともあれば、10年後にそれをばらし、インクをのせて刷るということもします。

連続性のある52枚の版画による《52記》を、前後期にかけて展示するなど、硬質な詩情に満ちた作品を紹介します。

83歳の現在も、精力的に世界を飛び回り、彫刻、絵画、ドローイングを手がける李禹煥は、早くから版画にも取り組み

ました。現在も、版画の制作で気づいたことを、絵画に反映させるという試みを続けています。

本展では、初期のステンシル作品から、さまざまな技法を取り入れて展開するさまをたどり、昨秋に発表した100号サイズの木版画《Dialogue 2019 1》までを展示します。「版をテーマにした3人の展覧会は、初めての試みです。これまで鑑賞する機会が少なかった作品群から、巨匠たちそれぞれの創造の軌跡をたどることができるでしょう」(野田学芸員)。

[取材・文：北島章子]

美術館 Schedule

《世田谷美術館》

■ミュージアム コレクション

受け継がれる工芸の技と心——そして現代へ ▶ 開催中～4月12日[日]

■気になる、こんどの収蔵品——作品がつれてきた物語 ▶ 4月25日[土]～6月14日[日]

《向井潤吉アトリエ館》

空調設備等の改修工事のため、4月17日[金]まで休館

■向井潤吉 民家への旅路 ▶ 4月18日[土]～10月4日[日]

《清川泰次記念ギャラリー》

■清川泰次 絵と言葉 ▶ 4月1日[水]～10月4日[日]

《宮本三郎記念美術館》

■宮本三郎 絵画、その制作とプロセス ▶ 4月1日[水]～10月4日[日]

ふるえる程のしあわせが欲しい それはどこにあるのかしら？

— 『ハッピー・マニア』

『ハッピー・マニア』『花とみつばち』『さくらん』『シュガシュガールン』『働きマン』など、少女漫画から青年漫画まで幅広い読者に喜びと力を与える物語を届けてきた安野モヨコ(1971～)。デビュー30周年を記念して、その格闘の軌跡を500点に及ぶ作品原画で辿るとともに、紙版画の技法で描いた『オチビサン』や、美人画なども手がける卓越した絵師としての側面もご紹介します。



『後ハッピーマニア』2019年

高校3年生でデビューした安野モヨコは、1995年に連載を開始した『ハッピー・マニア』で一躍人気漫画家となります。「ふるえる程のしあわせ」を求めて様々な男との出会いと別れを繰り返す主人公・重田加代子(通称・シゲカヨ)の姿は多くの女性たちの共感を呼びました。その後、女性向け漫画誌にとどまらず、青年誌に『花とみつばち』『さくらん』『働きマン』、少女漫画誌に『シュガシュガールン』、さらに新聞紙上で連載開始された『オチビサン』など活躍のフィールドを果敢に広げ、幅広い読者層に漫画を届けてきました。

男と女それぞれにとっての恋愛、あるいは社会人の現実と少女の空想世界といった、相反するテーマを描き分ける安野モヨコ。その振幅の大きい作品世界を本展では「女」-「男」、「荒」-「和」、「美」-「醜」、「夢」-「現」などのテーマごとにご紹介していきます。

作品の相次ぐドラマ・映画・アニメ化で人気に拍車がかかり、過労による体調不良を抱えながら多くの仕事をこなしていた安野モヨコは、2008年に『オチビサン』を除く連載の休業を発表。移り住んだ鎌倉で、四季の移ろいや失われゆく風景を紙版画の技法(ポシヨワール)で『オチビサン』に描き続けるとともに、一枚絵のシリーズ制作や個展開催などを通じて、漫画以外の絵師としての才能にも磨きをかけていきます。

そして2013年、5年ぶりの復帰作として『鼻下長紳士回顧録』を発表。20世紀初頭のパリの娼館を舞台に、様々な変態的欲望を抱えた紳士たちと、そこで小説家として目覚めてゆく娼婦コレットの姿を描きました。

様々な状況下にある女性を描いてきた安野モヨコが、繰り返し作品の舞台としてきたのが娼館です。アメリカの荒野の娼館から脱走したキャンディとスージーをはじめ女性たちの逃避行を描く『バッファロー 5人娘』。そして、江戸の吉原へ身売りされた少女が持ち前の負けん気と器量の良さで花魁・きよ葉へと成長していく『さくらん』。望まない仕事を生活のために続け、そこから抜け出すことができない彼女たちにとって、外に出るとはどのようなことか、あるいは男たちの評価に晒されながらそこでどのように自分を確立していくのか。時代や場所を変えながら、現代社会を生きる者にも通じる事柄がストレートに描写されています。

世田谷文学館

4月25日[土]～6月28日[日]

安野モヨコ展 ANNORMAL

観覧料：一般800(640)円／65歳以上、高校・大学生600(480)円／小・中学生300(240)円／障害者手帳をお持ちの方400(320)円(但し、大学生以下は無料)

※()内は20名以上の団体割引料金・せたがやアーツカード割引料金

※4月25日[土]は開館記念観覧料無料 ※5月1日[金]は65歳以上無料

※6月6日[土]は地域催事に伴い観覧料無料

開館時間 10時～18時 * 展覧会入場、ミュージアムショップの営業は17時30分まで
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は開館し、翌日休館)
 ※5月4日[祝・月]は開館し、5月7日[木]を休館します



『さくらん』2002年



『シュガシュガールズ』2005年



『働きマン』2007年



『鼻下長紳士回顧録』2017年

『鼻下長紳士回顧録』では、常人に理解し難い奇妙な欲望を抱えた紳士たちが「自分の欲望の正確な形を突き止めた人」として描かれます。恋人との関係や密かに書き溜めていた私小説の執筆で行き詰っていたコレットは、紳士たちとの関わりの中で本当の自分の欲望に気づき、自分の物語を語り直すことで娼館の外へと出ていきます。

『ハッピー・マニア』以降も、安野モヨコは様々な作品を通じて、誰かに合わせ模倣するのではない本当の自分の欲望とは何か、幸せとは何かを読者に問いかけています。現在、ファン待望の続編となる『後ハッピーマニア』の連載もスタートし、再び漫画家としての活動を本格化させている安野モヨコ (Anno)。その普通でない (unnormal)、唯一無二の「ANNORMAL[アンノーマル]」な作品世界をどうぞご堪能ください。 [文: 世田谷文学館 庭山貴裕]



『オチビサン』2016年

画像はすべて©Moyoco Anno / Cork

文学館 Schedule

- 同時開催 コレクション展
 一綴じられた時間の物語— ムットーニのからくり文学館
 ▶ 4月25日[土]～9月22日[火・祝]
- 次回企画展
 あしたのために あしたのジョー!展 ▶ 7月11日[土]～9/22日[火・祝]

10年目を迎える「14歳のワンピース」、9年分の

14歳の心模様をデザインして生地にプリントし、約1か月後、仕立てたワンピースを身にまとっての撮影会を行う「14歳のワンピース」。毎年人気のこのワークショップは、この夏とうとう10年目を迎えます。過去9年分のワンピースをプレバック!



誌上ファッションショー!



今年ももうすぐ
申し込みが始まります。
この春中学2年生になった
みなさんのご応募を
待っています!!



DATA

生活工房ギャラリー

夏の子どもワークショップ「14歳のワンピース」

日時: [制作] 7月31日[金]・8月1日[土]・2日[日] 10時~17時
[撮影会] 8月22日[土] 13時~17時 ※4日間で完結
対象: 中学2年生女子 定員: 抽選15名 参加費: 4,000円
講師: spoken words project 飛田正浩
申込・詳細: 5月下旬に生活工房ホームページをご覧ください

生活デザイン Schedule

- 世田谷アートフリマつながり展2020 ▶ 4月11日[土]~26日[日]
- 春日明夫コレクション「アメリカン・トイズ since 1920s—暮らしと時代を映す玩具展」
▶ 5月2日[土]~7月12日[日]

このほかにもさまざまなプログラムを行っています。ホームページ、チラシなどをご覧ください。

静と動の響ひびき ～笛・琵琶～

邦楽ほうがく囃子はやし笛方ふえかた・中川善雄なかがわ ぜんゆうさんに聞く



日本の横笛で一番ポピュラーなのが篠笛です。三味線音楽や祭囃子・獅子舞などに使われます。他に有名な笛はお能に使われる能管、雅楽に使われる龍笛、お神楽に使われる神楽笛などがあります。

第3回目となる「シリーズ和・華・調」では、長唄や日本舞踊、歌舞伎などのお囃子でもご活躍の邦楽囃子の第一人者、中川善雄さんの笛を中心に「静と動の響～笛・琵琶～」をお届けします。

篠笛の世界

邦楽囃子の笛方は、一つの舞台で篠笛と能管を吹き分けるのが伝統です。

「普段、仕事に持っていくのは、能管一管と篠笛30本程度です(右頁写真参考)。長唄でも清元でも義太夫でも、唄方の声の調子に合わせて吹くため、そのくらい用意して臨みます。男声と女声では声の高さが違いますし、三味線の曲の調子(本調子、二上り、三下りなど)によっても選ぶ笛は違ってきます」と中川さん。

笛の頭の漢数字は、笛の調子を表しています(右頁写真参考)。「三」は三本調子、「四」は四本調子という具合で、数字が増えれば増えるほど笛は短くなり、音が高くなります。その音高差は半音です。数字の下に点が打ってあるのは、その半音の間をさらに分ける符号です。微分音。これを聞き分けて笛方は演奏しているのです。

「例えば普段四本調子で唄う人でも、その日の体調によってちょっとメッて(音を下げ)唄うことだってあるし、私の体調のこともあります。また、三味線は舞台上で演奏していると、舞台の温度や湿度で音が上がったり下がったりします。唄はそれに合わせますから、笛もそれに合わせるようになります」

成城ホール

6月20日[土] 15時

シリーズ和・華・調 第3回 静と動の響 ～笛・琵琶～

- 出 中川善雄(篠笛・能管) 北原香菜子(薩摩琵琶)
藤倉推峰(篠笛・能管) 薦田治子(お話) ほか
- 曲 本能寺、月輪、敦盛、回峰、黎明
- ¥ 一般 3,500円 友 3,000円(前売のみ) ※未就学児入場不可

やたがやジュニアオーケストラ(SJO) 通信

3月28日、円光寺雅彦氏を指揮に迎え、第10回定期演奏会が大盛況の下に終了する…予定でした。節目の演奏会として、池辺晋一郎音楽監督が作曲した委嘱作品「星をかぞえる」の世界初演、また第1回に演奏した「新世界より」の再挑戦。団員一人一人特別な思いが込められていた演奏会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、やむなく中止となりました。いつも応援くださ

っている皆さまに、お披露目できないこと、大変心苦しく思います。

3月の練習もすべて中止となったため、次にメンバーが顔を合わせられるのは4月。気持ちを新たに、今年度の活動が良いスタートで始められるよう、我々スタッフも尽力いたします。どうぞ皆さま、今後とも温かくお見守りいただけますと幸いです。

Vol.16



第10回定期演奏会に向けた練習風景

中川さんは邦楽囃子としての舞台上で演奏する際には、自身のそばに基本の笛を真ん中に置き、その両脇にちょっと音が
高い笛、低い笛を並べて置き、三味線や唄方の調子に合わせ、即座に対応するのです。

また、見た目にはまったくわかりませんが、演奏中は笛に対する口の角度が常に変化しています。

「自然の篠竹を使っているので完全な律の笛というものは
ありませんし、半音を出す時には指の操作だけでなくメリカリの操作(吹き口に口をつけたり離したりする)をする必要があるからです。これは篠笛奏者の宿命ですね」

しかし、それで初めて、あの情緒纏綿とした音色が奏でられるわけです。

能管の世界

能管は能の囃子である四拍子(笛、小鼓、大鼓、締太鼓)の一つとして活躍しますが、邦楽囃子にも効果的に使われます。「能管は音痴な楽器です」と中川さんが言うとおりの、吹き口の近くに“のど”(*)という、あえて音階を崩す構造を作っています。それにより唄・三味線の調子やリズムとはまったく外れて、その間を縫うように音を泳がせたり(あしらい)、リズムにはまって激しい息遣いで演奏したりして幽玄の雰囲気を出します。

また、能管は鋭く甲高い音が出せるようになっていて、曲の始まりや終わりをその音で締めくくったりもします。「ヒーヤーヒー(=双ヒシギ)」という最高音域で曲が始まるんです



◎「ふえ」って何?

「ふえ」といえば横笛を想像しますか? リコーダーを想像する人も多いのでは? でも、あれは縦笛。「ふえ」は古来、大和言葉で吹き鳴らすものを表していました。漢字を当てれば「吹枝」。管楽器です。尺八のふえ、笙もその仲間。ちなみに日本の弦楽器は大和言葉で「こと」です。箏のこと、琴のこと、三味線のこと、琵琶のことなどがあります。唱歌《青葉の笛》は笛の名手でもあった平敦盛の最期を歌った曲として有名。「敦盛」といえば琵琶の名曲。6月20日の左記の公演でもお聴きいただけます。

PROFILE

◎ 中川善雄 (篠笛・能管) なかがわ・よしお

12歳頃より父(藤舎流笛家元藤舎秀達)から笛の手ほどきを受ける。1965年、東京藝術大学音楽学部入学。在学中は故六世福原百之助(人間国宝・寶山左衛門)に師事。69年同大卒業後は国立劇場主催公演、NHK音楽番組、邦楽演奏会、舞踊協会等に出演。89年より30年間に亘り富山県南砺市城端にて笛の独奏会を開催。2015年まで東京藝術大学客員教授。06年伝統文化ボーラ賞、14年松尾芸能賞、東燃ゼネラル音楽賞、15年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。長唄協会会員、藤舎囃子研究会、真しほ会同人、現代邦楽作曲家連盟会員。



◎ 北原香菜子 (薩摩琵琶) きたはら・かなこ

2001年、早稲田大学入学時に琵琶と出会い、薩摩琵琶鶴田流を田中之雄氏に師事。06年「くまもと全国邦楽コンクール」で全部門総合第1位を受賞。田中之雄氏とイタリア公演、法然上人800年大御忌奉納演奏(京都知恩院)、世界遺産登録祝奏(平泉中尊寺)など。18年~19年、チャイコフスキー記念モスクワ国立音楽院にて「ノヴェンバー・ステップス」をオーケストラと共演、ラフマニノフホールにてソロ公演。現在、稽古場「かなこ堂」(佐賀市)を拠点に、古典曲からオリジナル曲まで、国内外で演奏活動中。



が、その音が鳴るか鳴らないか、怖いですね」と、中川さんでも緊張する音出しのようです。このヒシギは縄文の笛として知られる石笛の音を模しており、神降ろし、神上げの意味を持っています。

長さが一緒でも1本1本違う能管ですから、例えばお稽古でも師匠と一緒に吹くということはありません。能の能管の唱歌で習います。篠笛と能管は楽器の育ってきた環境が違うのです。

*

日本の笛で邦楽の有名な旋律や唱歌などを吹いた時の日本的情緒は、ほかのどの楽器にも負けません。単純な楽器でありながら、音色が美しいということもあって近年、笛の愛好者数は増えています。そこで笛のコンサートも催され始めました。6月20日の今回の公演では、笛の独奏楽器としての新しい世界から伝統ある長唄の邦楽囃子まで堪能できます。また、琵琶との共演というのは滅多にお目にかかれないものです。「初めての共演で私も楽しみです」と中川さん。

※のど=吹き口と一番手前の指孔の間の管の中にある部分。管の内径より少し細い竹の筒を埋め込んであり、能管独特の音を出す。

[取材・文: 田中隆文(邦楽ジャーナル編集長)]

[撮影: 松谷靖之]

～世田谷の国際交流の拠点に～

Crossing Setagaya

せたがや国際交流センタークロッシング (Crossing Setagaya)せたがや 世田谷線三軒茶屋駅上に2020年4月3日オープン

今、世田谷区には2万3千人もの外国籍の方々が暮らしています(2020年2月現在)。また、この夏、東京2020大会の馬術競技が馬事公苑で開催されることに加え、アメリカ合衆国の選手団が大蔵運動場・大蔵第二運動場でトレーニングキャンプを行うことから、大勢の外国人が世田谷を訪れるでしょう。

これまで以上に外国人を見かけることが増え、もしかしたら言葉を交わすこともあるかもしれませんですね。

そんな変化を迎える2020年、東急世田谷線三軒茶屋駅の改札を出て左側に見える八角形の建物の2階に「せたがや国際交流センター(Crossing Setagaya)」がオープンします。

Crossing Setagayaって?

Crossing Setagayaは、世田谷区に暮らす外国人の皆さんの「知りたい」「困った」「友達が欲しい」といった声に答える場所です。暮らしに役立つ情報を提供し、地域で活動する団体の紹介、困りごとの相談や窓口の案内などを行っています。

また、外国人と一緒に地域で活動したい、自分たちの活動を知ってもらいたい、仲間を増やしたいという方々にも利用していただきたいと思っています。

一緒に考え、学んで、交流する

私たちは、外国人の皆さんが地域で安心して暮らしていただけるように、文化の異なる人たちの生活や価値観を知って良好なコミュニケーションをとれるように、より多くの人と関わりながら地域活動をしていける社会になることをめざしています。そのため、私たちは様々な国や地域の文化を学ぶ講座や、外国人と日本人が交流できる場の提供、地域団体が活動を発表し交流できるイベントなどを実施していきます。

小さな悩みを聞いてもらいたい外国人の皆さん、地域で活動している団体の皆さん、国際交流や多文化共生に興味のある皆さんのお越しをお待ちしております。

Crossing Setagayaは、世田谷に暮らす様々な人たちの交流の場がこれまで以上に広がっていける交差点(Crossing)のような場所でありたいと考えています。

気軽に交わす会話から、お互いの文化や考えを理解し、民族や国籍などの垣根を越えた市民間の交流を、一緒に築いていきましょう。

※この文章では、外国籍の方、日本国籍を得た外国生まれの方など、外国にルーツのある様々な方を、多くの方々に分かりやすい表現で「外国人」と表記させていただいております。

施設案内



Crossing Setagaya せたがや国際交流センター
Setagaya Intercultural Center
クロッシングせたがや

世田谷区太子堂4-1-1

キャロットタワー2階

TEL 03-5432-1538 FAX 03-5432-1570

<https://www.crossing-setagaya.com>

開設時間：火曜日～日曜日 午前10時～午後6時
(月曜日・年末年始休み)

『メアリ・スチュアート』

作：フリードリヒ・シラー 上演台本：スティーブン・スペンダー

翻訳：安西徹雄 演出：森新太郎

出演：長谷川京子 シルビア・グラブ 三浦涼介 吉田栄作／

山本 亨 青山達三 青山伊津美 黒田大輔 星智也

池下重大 富永 竜 玲央バルトナー 鈴木崇乃 金松彩夏／

鷺尾真知子 山崎一 藤木 孝

評・淵上えり子 [読売新聞記者]

「歴史」は勝者の物語だと言われる。権力を握った人物が自らの正当性を語り、政争に敗れた人物は去るしかないからだ。では、本作で描かれた対照的な女王2人のうち、どちらが真の勝者なのだろうか。

16世紀末、スコットランド女王メアリ・スチュアート(長谷川京子)は政変によって国を追われ、遠縁にあたるイングランド女王エリザベス(シルビア・グラブ)のもとに身を寄せる。ところが、エリザベスはイングランドの王位継承権を持つメアリの存在を恐れ、彼女を19年もの間、幽閉する。さらに、メアリはエリザベスの暗殺計画にかかわった嫌疑をかけられ、死刑判決を受ける。

ドイツの劇作家フリードリヒ・シラーが1800年に書き上げた群像劇。史劇の演出に定評がある森新太郎の手にかかれば、緻密な解釈によって重厚な物語の中にも笑いが生まれ、上質な人間ドラマが立ち上がる。とりわけ、女王2人を取り巻く男たちが謀略を巡らせ、足を引っ張り合うさまは痛快で目が離せない。

吉田栄作は曲者のレスター伯を演じ、権力に執着する男の滑稽さを具現化させた。レスター伯はエリザベスの重臣(しかも愛人)でありながら、かつてはメアリの婚約者で、幽閉先からの脱出に手を貸そうとする。ヒーロー然とした前半と、目論見がばれて無様に取り繕う後半のギャップは鮮烈だった。山崎一はレスター伯に対抗する大蔵卿パーリーの実直さを表し、藤木孝は国璽尚書タルボットを買祿たっ



左からシルビア・グラブ、吉田栄作、長谷川京子

ぷりに演じて舞台を引き締めた。死刑執行のサインを巡るエリザベスとのやり取りで爆笑をさらった秘書役の黒田大輔、メアリに憧れる青年モーティマーを清新に演じた三浦涼介も印象的だった。

スリリングな物語を支えた斬新なスタッフワークも特筆に値する。美術の堀尾幸男は舞台手前に花道、奥の3か所に奈落へ降りる階段を設え、複雑な筋書きと空間的な広がりを見事にリンクさせた。照明の佐藤啓は逆光を効果的に使い、シルエットで女王の神々しさを表現した。

そして何よりも、2人の女王の存在が際立っていた。メアリは気高く、類いまれな美貌で男たちの心を掴む。長谷川の凜とした佇まいはこの役にふさわしい。エリザベスは栄華を極めるが、民衆の意見を気

にしすぎて右往左往する。グラブは白塗りの奇抜なメイクと相まって、アクの強い役を緩急自在に演じ、愛嬌たっぷりの女王像を現出させた。

史実ではまみえることのなかった2人は相対し、火花を散らす。不思議なことに、境遇や宗教観の違いよりも、男性中心の宮廷でもがき続ける共通項が浮き彫りになる。2人の心を占めるのは、圧倒的な孤独感に違いない。

「これで、この世には、もう、用はない」

終盤、メアリは毅然と言い放ち、刑場へ向かう。魂の自由をようやく手に入れ、清々しく歩み出す姿に胸を衝かれた。残されたエリザベスはいっそう心細そうで、2人の「対決」の結末に思いをはせた。

[撮影：細野晋司]

「新青年」と世田谷ゆかりの作家たち —作家たちの交流—

世田谷文学館で開催のコレクション展〈「新青年」と世田谷ゆかりの作家たち〉では、1920(大正9)年1月に博文館より発刊された雑誌「新青年」の作家、特に世田谷にゆかりのある人物の資料を中心として所蔵コレクションで構成しました。今回は、横溝正史・海野十三・小栗虫太郎の交流の様子をご紹介します。

今なお人気の名探偵・金田一耕助の生みの親、横溝正史のデビューは1921(大正10)年に「新青年」に応募した懸賞小説「^{エイプリル・フール}恐ろしき四月馬鹿」でした。太平洋戦争時、岡山へ疎開していた横溝が世田谷・成城に移り住んだのは1948(昭和23)年のこと。横溝の成城移住には、ご子息と、ある書店店主、それに作家仲間の海野十三の尽力がありました。海野十三も「新青年」からデビューした作家で、「日本SF小説の父」とも称されるように科学知識を活かした小説は後世のSF作家にも影響を与



横溝正史 成城の自宅庭で

えています。

世田谷・若林に住んでいた海野は、横溝の移住を大変喜び、毎日のように横溝と書簡のやりとりをし、それを楽しみにしてい

ました。病に罹っていた海野ですが、亡くなるその日まで横溝に手紙を書き続け、彼の死後にその手紙をうけとった横溝は「断腸の涙にくれている」と記しています。

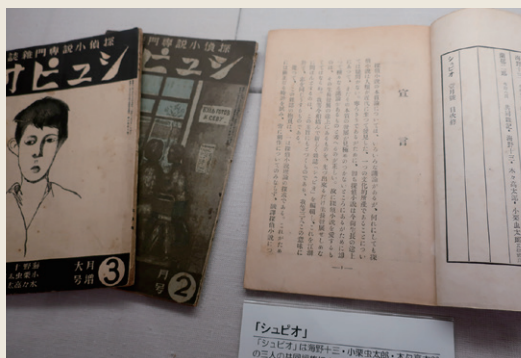
海野十三は、戦前、世田谷・太子堂に住んでいた小栗虫太郎とも親しく行き来をしており、1937(昭和12)年には同じく木々高太郎と共に探偵小説雑誌「シュピオ」を創刊しています。「シュピオ」には彼らの交流の様子も記されており、小栗虫太郎と海野十三の将棋対決などが掲載されています。小栗は戦後すぐ疎開先の信州で脳溢血により逝去してしまいましたが、そのときに作品掲載の「ピンチヒッター」を務めたのが横溝正史でした。ここには「妙な因縁」があり、かつて「新青年」のメ切前に病にたおれた横溝にかわって掲載されたのが、小栗虫太郎のデビュー作「完全犯罪」でした。横溝はこのときのことを恩義に感じていたようです。小栗は「新青年」で活躍し、〈日本三大奇書〉の一冊として数えられる「黒死館殺人事件」をのこしました。彼らの作品世界は惨劇や怪奇に満ちていますが、実生活のエピソードには心温まります。



雑誌「新青年」



横溝の世田谷移住を祝い、海野十三が送ったハガキ



雑誌「シュピオ」(展示ケース内)

[文：世田谷文学館 原辰吉]

11年目に突入する 《世田谷パブリックシアター@ホーム公演》

談：小宮山智津子（担当プロデューサー）

——世田谷区内の特別養護老人ホームなどで芝居を上演する《世田谷パブリックシアター@ホーム公演》が今年11年目を迎えます。この事業がスタートしたそもそもの経緯から教えてください。

世田谷パブリックシアター開場準備室から劇場の業務に携わってきましたが、初代芸術監督の佐藤信さんの方針でもあり、スタート時から自分でも取り組みたかったのが、演劇に興味がある方だけでなく、劇場に来たことがない方たちと劇場をつなぐために何ができるかでした。例えば2003年から2011年に実施した《世田谷パブリックシアター@スクール公演》では、オリジナルの参加体験型の芝居を俳優たちとつくり、世田谷区の小・中学校で上演し、子どもたちの反応もとても良かった。この手応えを踏まえて次の展開として考えたのが、劇場に足を運べない高齢の方たちへ向けた《@ホーム公演》で、2009年に企画案をまとめ、2010年に5つの施設で試演、本格的に始動したのは2011年でした。

——まず試演をされたんですね。

はい。試演段階で施設の方たちが「いつもは寝てしまう人、途中で立ってしまう人が最後まで観ていた」「見たことのない表情を浮かべていた」と、まず驚いてくださったんです。外部から人がやって来て、手が届くような場所でお芝居をする……アートを介すると、日常にはないことが可能になるんですよ。あの時、各施設の皆様が門戸を開いてくださったことで実現した事業だと感じます。



▼『チャチャチャのチャーリー ～風に吹かれて、森の花嫁～』2015年

——初年度から関わるノゾエ征爾（脚本・演出・出演）さんは、ご自身の舞台作品に《@ホーム公演》での体験が生きていると話していらっしゃいます。現在では高齢者の大群集劇なども手がけていますし、アーティストへの影響も生んだ事業です。

アーティストに地域に根ざした新たな機会をつくり出すのは、公共劇場の企画制作者だからこそできること。ノゾエさんにとっても一つのチャレンジだったと思いますし、現在まで取り組む熱量に変化はありません。一回一回が真剣勝負であるという点では俳優たちにとっても通常の舞台と変わりませんし、彼らが持つ技術と集中力は場の空気を一瞬で非日常に変えられる。これは年齢に関係なく理屈なしに伝わりますし、彼らの表現に一途なところを常に信頼しています。

——10年間の变化、今後の目標について教えてください。

初年度の公演で、俳優が《ふるさと》を歌ったら、皆さんと一緒に口ずさんでくださった瞬間は印象的でしたね。それ以来ノゾエさんも必ず全員で歌える場面を入れています。施設職員さんの出演箇所もあるのですが、皆さんの演技が上手くなってきたのも変化の一つ(笑)。「今年も世田谷パブリックシアターさんが来ましたよ～」



と、各施設の皆さんの日常会話に劇場名が自然と出てくるのがうれしいですね。4、5年前からは障害者施設からも申し込みが入るようになり、自然な形で広がりが生まれています。とはいえ、やるべきことは劇場公演と同様、「興味を持っていただける作品をつくる」こと。初心に戻り、気を引き締めて取り組んでいきます。

[取材・構成：川添史子]
[撮影：梅澤美幸]



▲『チャチャチャのチャーリー ～10周年だよ、チャーリー誕生秘話～』2019年



第6回世田谷区芸術アワード“飛翔” 受賞者決定

世田谷区芸術アワード“飛翔”は、若手アーティストの多彩な文化・芸術活動の支援を目的に2008年創設され、世田谷区と公益財団法人せたがや文化財団が共催し、5つの芸術分野で自薦方式での募集を行ってきました。

第6回となる今回は、各分野で活躍中の方々を外部審査員として迎え、また、公募を全国に広げるなど要項を改定。応募総数は5部門合計で過去最大の134件となり、その中から3団体3名の受賞が決定しました。2020年2月8日に開催された受賞式には、保坂展人世田谷区区長をはじめ各部門の審査員が出席し、表彰状と賞金目録とともにメッセージが贈られ受賞者を称えました。

各部門の受賞者は、今年度中に受賞記念発表を行います。詳しくはホームページ等でお知らせします。



生活デザイン部門

「あの海は山のように」 椎木 彩子 (しいきさいこ)



2005年文化服装学院アパレルデザイン科卒業。イラストレーターとして活動を行い、日本各地、台湾、韓国などで個展を開催。歌とダンスと美術のパフォーマンスグループ「あの海は山のように」主宰。

★受賞作品名 『未来に伝えるせたがや今ばなし』

自分が住んでいる町の今、について様々な年代の人が一緒に調べ、考え、想像を膨らませて記録を残すことで、町への思い入れを深め、深い結びつきをつくる。地域で市民とのフィールドワークやワークショップを行い、絵本を制作、展示する。

★受賞記念展示

生活工房ギャラリーで2020年10月下旬から約1か月間展示予定



舞台芸術部門

「Pancetta(パンチェッタ)」



代表者 一宮 周平 (いちのみやしゅうへい)

一般社団法人日本演出者協会主催若手演出家コンクール2016第2次審査次点。シアターグリーン主催グリーンフェスタ2017 BASE THEATRE賞受賞(マグサムズ「パママ☆サイパン」一宮周平演出)。2018調布市主催 第9回せんがわ演劇コンクールグランプリ、オーディエンス賞、俳優賞。一般社団法人日本演出者協会主催若手演出家コンクール2018最優秀賞、観客賞。

★受賞作品名 『un (うん)』

演劇とコトのはざまをいく、ライトでシュールなユーモアのある作風。装置のない空間に存在する音・光、そして人間の身体がつくりだす時間により、観るものの想像を喚起し、独特の世界へと導く。

★受賞記念公演

シアタートラムにて2020年11月中旬公演予定



美術部門 2名

堀江 栞 (ほりえしおり)



多摩美術大学美術学部絵画学科日本画専攻卒業。五島記念文化賞受賞によりパリ留学。

心から好きなものの存在の芯を確かな形にしたいという気持ちから、「動物」、「石」、「人形」などを描き続け、近年は人物画の制作に力を注いでいる。「個の物語」に思いをはせるような展示を目指す。



前列左から

熾野優氏、「座・草月×UNT JAZZ Quartet」の深澤隆行氏、會川直樹氏、平原慎士氏、保坂展人、世田谷区副区長、菅野昭正、世田谷文学館館長、椎木彩子氏、一宮周平氏、堀江菜氏、久保ガエタン氏

後列左から

岡田篤、世田谷区副区長、水沢勉、神奈川県立近代美術館館長(美術部門外部審査員)、井上鑑氏(音楽部門外部審査員)、金森香氏(生活デザイン部門外部審査員)、永井多恵子(公財)せたがや文化財団理事長、酒井忠康、世田谷美術館館長、岩松了氏(舞台芸術部門外部審査員)、マキノノゾミ氏(舞台芸術部門外部審査員)、小野寺修二氏(舞台芸術部門外部審査員)



音楽部門

「座・草月×UNT JAZZ Quartet」



代表者 平原 慎士 (ひらばる しんじ)

2005年、全国ギブソンジャズギターコンテスト史上最年少で準優勝を受賞。06年渡米、テキサス州ノーステキサス大学(UNT)へ留学。卒業後、東京を拠点として音楽制作に携わる。17年UnLike Sound Productionを設立。

★受賞作品名 『春夏秋冬、そして秋』

テーマ「春夏秋冬」に沿って、「生け花」と「生演奏」そして「マイクで收音・検知し自動生成される『映像テクノロジー』が即興的に展開し、植物の輪廻を表現。一期一会の作品が生まれる。音楽はオリジナル楽曲を、ジャズを基調に生演奏。

★受賞記念公演

シアタートラムにて2020年11月中旬公演予定



文学部門

熾野 優 (おきの ゆう)



日本大学芸術学部文芸学科卒業。在学中、文芸雑誌「江古田文学」に寄稿するなど創作活動を行う。卒業後は文芸同人誌「閑窓」にて定期的に作品を発表している。

★受賞作品名 『光暈(こううん)』

姉の連れてきた男がなぜかアパートに居座ようになり共同生活を強いられた女性と、得体の知れない「あいつ」との奇妙な関係性を描く。文章の息遣いや描写の技術に優れており、今後を期待させる作品。

★受賞記念発表

世田谷文学館が2020年3月に発行する「文芸せたがや」誌上と世田谷文学館ホームページで発表

★受賞記念展示 世田谷美術館 区民ギャラリーで2021年3月に同時開催予定

久保 ガエタン (くぼ がえたん)



東京藝術大学大学院先端表現専攻修了。ポーラ美術振興財団在外研修助成によりパリ留学。

自分のアイデンティティやルーツを探求する作品を制作してきた。豪徳寺の招き猫と喜多見不動の金色姫の伝説を基に、近代化にとまなう人の移住をテーマとした映像インスタレーションを制作。



* THEATRE

True Colors Festival/True Colors SIGN
デフ・ウェスト・シアター『オルフェ』

4月24日[金]～26日[日] シアタートラム

アメリカを代表する手話演劇カンパニー
16年ぶりとなる待望の来日公演で最新作上演



©Josh Renaud

原作 ジャン・コクトー 演出 ディーナ・セレノウ 美術 ジェームズ・マルーフ
出 デフ・ウェスト・シアター

整理番号付自由席

一般 4,000円 ペア7,000円(前売りのみ) 3,700円
友 3,500円 U24 2,000円 高校生以下 1,000円

*本公演は「True Colors Festival—超ダイバーシティ芸術祭—」の一環です。
*高校生以下は当日要証明書提示 *未就学児入場不可

4月	24	25	26
	金	土	日
14:00	●	●	●
19:00	●	●	●

『殺意 ストリップショウ』

7月11日[土]～26日[日] シアタートラム

三好十郎による女優の一人芝居
栗山民也演出で鈴木杏が挑む



栗山民也

鈴木杏

作 三好十郎
演出 栗山民也
出 鈴木杏

一般 6,000円
友 5,500円
U24 高校生以下 3,000円

一般発売 5月17日[日]

7月	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00	●	●	休演日	●	●	●	●	●	休演日	休演日	◆	◆	●	●	●	●
19:00			休演日	●	●	●	●	●	休演日	休演日	◆	◆	●	●	●	●

◆収録のため客席内にカメラが入ります。
■視覚障害者のための舞台説明会あり
(要事前申込・無料。本公演のチケットをお持ちの方が対象)
*高校生以下は購入時要証明書提示 *未就学児入場不可

『ある馬の物語』

トルストイ×白井晃の新演出
今の世界にも通じる「生きることは何か？」

原作 レフ・トルストイ 脚本 マルク・ロゾフスキー
音楽 マルク・ロゾフスキー 国広和毅 (詞) ユーリー・リャシェンツェフ
翻訳 堀江新二 訳詞 白井 晃 国広和毅 演出 白井 晃
出 成河 別所哲也 小西遼生 音月 桂
大森博史 小宮孝泰 春海四方 小柳 友
浅川文也 天野勝仁 西田欧諒 須田拓未
穴田有里 香月彩里 小林風花 永石千尋 熊澤沙穂

一般 S席(1・2階席)8,000円/A席(3階席)4,800円
友 S席7,800円/A席4,600円
友 S席7,500円/A席4,400円
U24 高校生以下 S席4,000円/A席2,400円

<プレビュー公演>

一般 S席(1・2階席)7,000円/A席(3階席)4,000円
友 S席6,800円/A席3,800円
友 S席6,500円/A席3,600円
U24 高校生以下 S席3,500円/A席2,000円 一般発売 4月26日[日]

6月17日[水]・18日[木] (プレビュー) 6月20日[土]～7月12日[日] (本公演)
世田谷パブリックシアター



成河

別所哲也

小西遼生

音月 桂

6月	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00	●	●	休演日	●	●	●	●	休演日	●	●	●	●	休演日	●	●	●	●	●	休演日	休演日	●	●	●	●	●	●
18:00	●	●	休演日	●	●	●	●	休演日	●	●	●	●	休演日	●	●	●	●	●	休演日	休演日	●	●	●	●	●	●
19:00	●	●	休演日	●	●	●	●	休演日	●	●	●	●	休演日	●	●	●	●	●	休演日	休演日	●	●	●	●	●	●

■視覚障害者のための舞台説明会あり
(要事前申込・無料。本公演のチケットをお持ちの方が対象)
*高校生以下は購入時要証明書提示 *未就学児入場不可

チケットの購入方法

世田谷パブリックシアターチケットセンター 世田谷パブリックシアター/シアタートラムと音楽事業部の公演チケットを取り扱っています

電話予約
03-5432-1515
(10時～19時 年末年始は除く)

窓口
キャロットタワー5階
(10時～19時 年末年始は除く)

オンライン
(要事前登録・登録料無料)
(年中無休・24時間対応)

<https://setagaya-pt.jp/>

チケット料金はすべて税込 年末年始休業日：12月29日～1月3日

せたがやアートカード会員(前売のみ)

友 世田谷パブリックシアター友の会会員(前売のみ)

U24 18歳から24歳対象(要事前登録・前売のみ)

高校生以下 購入時もしくは当日要証明書提示

車椅子スペース(定員有り、前日19時までにはチケットセンターで要予約)

託児サービス(定員有り、2,200円、3日前の正午までに要予約) 03-5432-1526
生後6ヶ月以上9歳未満。障害のあるお子様についてはご相談ください

※新型コロナウイルス感染拡大防止などの理由で開催中止や内容が変更になることがあります。

* MUSIC

室内楽シリーズ 須川展也サクソフォン・リサイタル
—パッサ・シークェンス

5月30日[土]15時 成城ホール



須川展也 ©Tey Tat Keng

小柳美奈子

日本が誇るクラシック・サクソフォン界のパイオニア！世界も注目する唯一無二のレパートリーと圧倒的な演奏をご堪能ください。

〔出〕 須川展也(サクソフォン)
小柳美奈子(ピアノ)

〔曲〕 J.S.パッサ(須川展也 編)：無伴奏ヴァイオリン・パルティータ
A.ピアソラ：天使のミロンガ(小松亮太 編) ほか

一般 3,500円 友 3,000円

※未就学児入場不可

<東京2020 NIPPONフェスティバル共催プログラム>
せたがやキックオフコンサート
～和のこころ Ring of Peace～

発売開始 4月3日[金]

7月5日[日]15時
昭和女子大学人見記念講堂

いよいよ東京2020大会目前。世界へ向けて、世田谷ゆかりのアーティストたちが集結し、区内の音楽仲間とともに創る、歓喜の祭典！

〔出〕 宮川彬良 林 英哲 英哲風雲の会
本條秀太郎 東儀秀樹
エリック・ミヤシロ VOJA-tension
駒澤大学吹奏楽部 Setagaya太鼓塾
キックオフ・スペシャル・クワイア ほか

一般 S席5,000円／A席3,500円
友 S席4,500円／A席3,000円

※2歳以下入場不可



オールド・アメリカン・パブ・クラブ

6月6日[土]14時 北沢タウンホール

ジャズやブルーグラス、古き良き時代の懐かしいジャパニーズ歌謡を肌で感じながら、60年代にタイムスリップ。ドリンクとともに楽しみみてください。

〔出〕 外山喜雄とデキシシーセイツ ザ・ブルーサイド・オブ・ロンサム
田才靖子
〔曲〕 ハロードリー ワシントン広場の夜は更けて ディズニーファンタジー
お祭りマンボ 上を向いて歩こう

※未就学児入場可(ひざ上のみ無料)



外山喜雄と
デキシシーセイツ

一般 3,000円
友 2,700円

※全席自由
ワンドリンク付

〔問〕 せたがや音楽プロジェクト事務局 (tel) 03-6804-9710 ((株)アイラブ内)

せたがやアーツカード

“世田谷区民限定”区民のみなさまのアート体験を応援する《せたがやアーツカード》▶



15歳以上の区民ならどなたでも登録できます。せたがや文化財団の各施設で割引料金などお得な特典をご用意。入会金・年会費は無料です。

- 特典
- 世田谷パブリックシアター／音楽事業部
▶ チケット先行発売・会員割引(一部を除く・前売のみ)
 - 世田谷美術館・分館／世田谷文学館 ▶ 観覧料割引(一部を除く)
 - 生活工房 ▶ 講座受講料割引(一部を除く)
 - メールマガジン毎月配信(ご希望の方のみ)

世田谷美術館／向井潤吉アトリエ館／清川泰次記念ギャラリー／宮本三郎記念美術館／世田谷文学館の窓口でも受付。ファックスや郵送でも受け付けています。お申込みの際は、ご本人の住所が確認できる書類(運転免許証、各種健康保険証、住民票の写し)をご提示ください。

詳しくは、<https://www.setagaya-bunka.jp/artscard/>

お問合せ・申込み受付：せたがやアーツカード事務局 キャロットタワー5階 ☎ 03-5432-1548 (10時～19時) 年末年始を除く **今すぐお申し込みを!**

友の会ご案内

《友の会》会員募集中 メンバーには盛りだくさんの特典!

■ 世田谷パブリックシアター友の会
SePT倶楽部

- 特典
- ・チケット先行予約・チケット割引
 - ・会報誌《SePT倶楽部》を毎月送付
 - ・劇場内ロビーカフェ無料ドリンク券プレゼント
 - ・企画イベントへのご招待&ご優待

お問合せ 世田谷パブリックシアター友の会事務局
☎ 03-5432-1524
🏠 <https://setagaya-pt.jp/tickets/howtobuy/club.html>

■ 世田谷美術館友の会
FRIENDS OF SETAGAYA ART MUSEUM

- 特典
- ・世田谷美術館・分館の観覧料が、有効期間内何度でも無料
 - ・実技講座・鑑賞会・美術館巡りなどへの参加
 - ・会報《世田谷美術館友の会だより》を年3回送付
 - ・提携美術館の入館割引
 - ・館内ミュージアムショップの割引

お問合せ 世田谷美術館友の会事務局
☎ 03-3416-0607
🏠 <https://setabi-tomonokai.jp/>

■ 世田谷文学館友の会
Setagaya Literary Museum Friendship Club

- 特典
- ・友の会独自の講座・文学散歩への参加
 - ・友の会会報、おしらせ、文学館ニュース、展覧会の案内を送付

お問合せ 世田谷文学館友の会事務局
☎ 03-5374-9111
🏠 <http://setabuntomo.net/>

〔各館友の会共通の特典／レストラン・カフェの割引〕
世田谷美術館・分館、世田谷文学館観覧料優遇／オーケラレストランスカイキャロット(キャロットタワー26F)／レストラン・ジャルダン、SeTaBi Café(世田谷美術館内)

世田谷美術館分館
清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 世田谷区成城2-22-17
☎03-3416-1202 🌐http://www.kiyokawataiji-annex.jp/



アクセス 小田急線「成城学園前」駅下車 南口から徒歩3分

世田谷文学館

〒157-0062 世田谷区南烏山1-10-10
☎03-5374-9111(代) 🌐https://www.setabun.or.jp/



アクセス 京王線「芦花公園」駅下車 南口から徒歩5分
小田急線「千歳船橋」駅から京王バス(蔵23)
千歳烏山行「芦花恒春園」下車徒歩5分

世田谷文化生活情報センター

〒154-0004 世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
☎03-5432-1500(代)



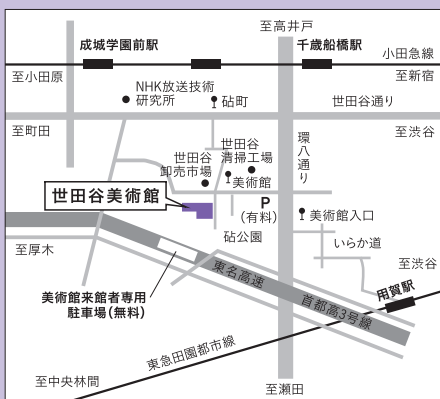
生活工房
☎03-5432-1543 🌐https://www.setagaya-ldc.net/
世田谷パブリックシアター/シアタートラム
☎03-5432-1526 🌐https://setagaya-pt.jp/
音楽事業部 ☎03-5432-1535
🌐https://www.setagayamusic-pd.com/
せたがや国際交流センター ☎03-5432-1538
🌐https://www.crossing-setagaya.com/

アクセス 東急田園都市線「三軒茶屋」駅下車徒歩2分(地下道直結)
東急世田谷線「三軒茶屋」駅下車徒歩0分
小田急バス・東急バス「三軒茶屋」下車徒歩1分



世田谷美術館

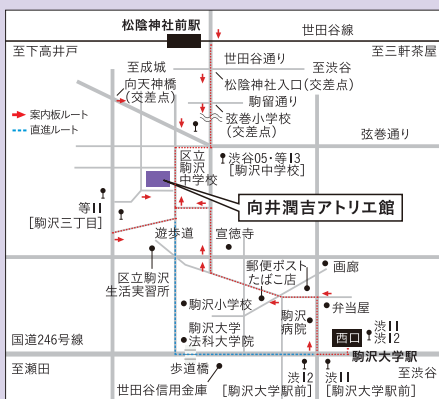
〒157-0075 世田谷区砧公園1-2
☎03-3415-6011(代) 🌐https://www.setagayaartmuseum.or.jp/



アクセス 東急田園都市線「用賀」駅下車徒歩17分または
美術館行バスで「美術館」下車徒歩3分
小田急線「成城学園前」駅から渋谷駅行バス「砧」下車
徒歩10分
小田急線「千歳船橋」駅から
田園調布駅行バス「美術館入口」下車徒歩5分

世田谷美術館分館
向井潤吉アトリエ

〒154-0016 世田谷区弦巻2-5-1
☎03-5450-9581 🌐http://www.mukaijunkichi-annex.jp/



アクセス 東急田園都市線「駒沢大学」駅下車 西口から徒歩10分
東急世田谷線「松陰神社前」駅下車徒歩17分
改修工事のため2020年4月17日(金)まで休館

世田谷美術館分館
宮本三郎記念美術館

〒158-0083 世田谷区奥沢5-38-13
☎03-5483-3836 🌐http://www.miyamotosaburo-annex.jp/



アクセス 東急大井町線・東横線「自由が丘」駅下車徒歩7分
東急目黒線「奥沢」駅下車徒歩8分
東急大井町線「九品仏」駅下車徒歩8分

公益財団法人 せたがや文化財団

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1
キャロットタワー5F
☎03-5432-1501 ☎03-5432-1559
🌐https://www.setagaya-bunka.jp/